

◎第10回理事会 (36.3.22) 出席者：沼田会長，外理事7名。議事：1) 昭和36年度事業計画および予算案を審議し定例常議員会に提案すること。2) 日本学士院会員候補者推薦については会長，副会長に一任。3) 名誉員候補者推薦については次回理事会で再審議すること。4) 北海道支部(奨励)賞の制定については35年度暫定措置として了承する。5) 36年度論文集発行計画および予算措置を承認する。6) 出版企画委員会の計画を承認する。7) 36年度夏期講習会計画を承認する。8) 工業高校教育に関する研究会を設置すること。9) 理事後任選考世話人および関東地区常議員選考世話人については会長，副会長に一任。10) 2月中会員入退会を承認する。報告：36年2月の会計報告，刊行物申込状況，各種委員会の報告を承認する。

◎定例常議員会 (36.3.30) 有権者49名，うち出席者8名，委任状28名，計36名の過半数で成立。理事4名，西部支部長(代宮内)。次の36年度事業計画案および予算案を審議の上可決した。

1. 昭和36年度事業計画

本部における昭和36年度事業計画は，科学技術の進展に対応し，各種委員会の研究活動を一層強化し，会員のため研究発表，各般の図書刊行を旺盛にして土木工学の進歩，土木事業の発達を期するとともに，わが国土木工学，技術の海外紹介をまはかりたい。

そのためには会員増強運動を一段と強化して，学会経済の確立を期するものである。

a. 主たる常置委員会の概要

(1) 会誌編集委員会 会誌46巻4号～47巻3号発行，従来の内容にさらに論文集の概要を加える計画である。

(2) 論文集編集委員会 論文集74号～79号発行，本年度より論文集希望会員(有料)頒布とする。なお従来の別冊論文集を廃止し，すべて本論文集に収録し発行。

(3) 文献調査委員会 会誌毎号に文献目録および抄録を紹介するとともに36年度より文献をパンチ・カードで整理し利用者の便に供する。

(4) 出版企画委員会 35年12月発足し，学会誌および論文集を除く学会の全出版物および学会監修の出版物を対象にその監理にあたるとともに，新規出版物の出版企画ならびに実施計画をたてるを目的とする。36年度計画の概要は次のとおりである。

①関門トンネル工事誌，②吉田徳次郎先生遺稿業績論文集およびパンフレット，③工業高校教科書監修，④ワーク・ブックス類の出版，⑤各委員会の出版物。

(5) 水理委員会 第6回水理研究会講演会を5月学会総会の前日，名古屋において開催し，講演概要を頒布する。第10集水理学研究の現況を10月編集し研究会会員に頒布する。32年出版の水理公式集の改訂に着手する。そのほか第9回国際水理学会議(ユネコー・ベオグラード9月)の連絡事項を取り扱う。

(6) 耐震工学委員会 地震工学に関する海外各機関との連絡事項。地震に関する調査研究第5回耐震工学研究発表会を10月開催し，講演概要を頒布する。

(7) 土木振興対策委員会 土木工学振興に関する理事会の諮問機関として随時開催。

(8) 海外連絡委員会 35年12月改組発足し，諸外国に日本の土木技術の紹介を目的とし，欧文日本土木技術年報，欧文

論文集などの刊行を企画する。従来どおり国際会議に関する事項を取り扱う。

(9) 橋梁構造委員会 10月第8回橋梁・構造工学研究発表会「構造物における高張力鋼およびその活用に関する研究」について日本学術会議橋梁・構造工学研究連絡委員会および日本建築学会と共催にて開催し，講演集を頒布する。国際橋梁・構造工学会議との連絡事項を取り扱う。

(10) コンクリート常置委員会 コンクリートに関する研究事項。下部組織として次の小委員会を設け，その他コンクリート鋼材に関する委託研究を取り扱う。なおコンクリート示方書の改訂準備に着手する。

①プレストレスト コンクリート小委員会：プレストレストコンクリートに関する研究事項，P.C設計施工指針改訂原案を35年度大要終了し，本年度上四半期印刷に付する計画。②フライアッシュ小委員会(別途会計)：フライアッシュに関する事項を前年度に引き続き研究する。

(11) 製図規格委員会 昭和28年制定の「土木製図基準」(1)の改訂ならびに後編の発行を計画する。

(12) 海岸工学委員会 海岸工学に関する研究事項，9月に第8回海岸工学講演会を札幌において開催し，講演集を頒布する。また Coastal Engineering in Japan Vol. 4 を刊行し，海外との交流をはかる。下部組織として，海岸保全施設小委員会において「海岸保全施設設計便覧」の改訂を行なう。

(13) 災害対策研究委員会 風水害などによる災害対策に関する研究事項。

(14) 土木技術者資格研究委員会 土木士法制定に関する諸事項につき研究する。

(15) 土木賞委員会 36年度土木賞選考に関する事項を取り扱う。

(16) 土木賞規約制定委員会 前年度土木賞委員会の運営成果を検討して改訂を要する事項を研究する。

(17) 大正以降土木史編集委員会 50周年記念事業の一環として原稿を整備する。

(18) 50周年記念事業準備委員会(仮称) 創立50周年(昭和39年)記念事業の準備を始める。

- ① 学会監修に係わる図書刊行委員会
土木工学叢書委員会 土木工学ハンドブック改訂委員会
- ② 委託研究として予定されるもの
鉄道に関する研究 八郎潟干拓水理に関する研究
鋼材関係(異形丸鋼)に関する研究
東京湾沿岸地域における輸送調査に関する研究
- ③ 各種行事(各種委員会および関係学協会連合のものを含む)

1) 関東地区常議員半数改選	4月
2) 定例常議員会	
(35年度事業報告，決算報告および36年度理事改選)	5月
(37年度事業計画，予算その他)	37年3月
3) 通常総会，第16回年次学術講演会，見学会(名古屋)	5月
4) 水理研究会講演会(名古屋)	5月
5) 夏期講習会	8月
6) 第11回応用力学連合講演会(大阪)	8月
7) 第8回海岸工学講演会(札幌)	9月
8) 第5回材料試験連合講演会	9月
9) 第8回橋梁・構造工学研究発表会	10月
10) 第5回地震工学研究発表会	10月
11) 風のシンポジウム	11月
12) 第3回原子力シンポジウム	37年2月
13) その他(随時行なうもの)	
講演会，シンポジウム	2～3回
見学会，エキスカージョン	2～3回
映画会	2～3回

b. 昭和 36 年度普通会計予算

収入の部		支出の部	
I 会費	21 000 000	I 総務費	14 500 000
II 政府補助金	100 000	II 会議費	350 000
III 諸刊行物収入	9 000 000	III 負担金	200 000
IV 雑収入	15 600 000	IV 支部交付金	2 100 000
V 繰入金	800 000	V 事業費	28 550 000
		VI 施設管理費	100 000
		VII 引当金	150 000
		VIII 予備費	550 000
合計	46 500 000	合計	46 500 000

◎各種委員会

(1) 第 20 回 PC 設計施工指針改訂小委員会 (36.2.24) 出席者：国分委員長，外委員 12 名，幹事 2 名。議事：1) 第 3 次原案により 2 次審議未了の箇条 1, 2, 3 および 47 条の各条につき審議。2) 出張委員会 (5 月 9, 10, 11 日) の持出先につき打合わせ。3) PC 技術協会のうち土木・建築の PC 指針の統一に関する依頼についての打合わせ。

(2) 文献調査応力部会打合せ (36.2.24) 出席者：久野委員長，外委員 5 名。議事：文献項目のうち，応力，橋梁，土質力学等について関連項目の調整を行なった。

(3) 第 45 回耐震工学委員会 (36.2.27) 出席者：那須委員長，外委員 8 名，大久保，伯野の両氏。報告および協議事項：1) WCEE 関係。2) UNESCO セミナーについて。3) 道路公園への依頼状について。4) 地震の調査について。5) 第 5 回地震工学研究発表会。6) Training Center について。

(4) コンクリート常置委員会 (36.2.28) 出席者：国分委員長，外委員 27 名。議事：1) 示方書改訂方針について。2) 異形鉄筋共通試験について。3) ACI 支部東京設置について。

(5) 論文集臨時部会長会 (36.3.1) 出席者：最上委員長，八十島編集理事，外部会長，幹事 6 名。議事：36 年度論文集の編集方針について協議し，各部委員会で委員の意見を聞いた上で次の部会長会で最終的に決定することにした。

(6) 文献調査幹事打合せ (36.3.2) 出席者：担当委員 7 名。議事：文献項目について全体の調整を行なった。

(7) 文献調査道路・鉄道・都市計画部会打合せ (36.3.2) 出席者：担当委員 3 名。議事：道路・鉄道・都市計画の各文献項目につき打合わせを行なった。

(8) 構造物耐震設計研究委員会幹事会 (36.3.2) 出席者：岡本副委員長，外委員 2 名，幹事 12 名。議事：昭和 35 年度報告書を 3 月 30 日までに JREA の方に提出しなければならないので，その報告書につき原案を提出審議した。報告書としてまだ完全に資料がそろわないので次回委員会までに作成提出する。

(9) 第 4 回グラウト専門委員会 (36.3.3) 出席者：国分委員長，樋口幹事長，外委員 13 名，幹事 3 名。議事：1) 各委員において試験をしたグラウトの中間報告，それについて質疑応答。2) プレストレスト コンクリート設計施工指針の改訂にともなうグラウトの箇条について。

(10) 第 2 回出版企画常任委員会 (36.3.3) 出席者：八十島委員長，外常任幹事 3 名。議事：1) 36 年度予算の編成にあたり出版企画委員会の意見を盛り込んだ予算にしたい旨を報告，事務局案を逐次検討した。2) 収支が償われないと思われる委員会出版物は合理化をはかるよう委員会へ申入れることに内定。3) 改訂計画のある書籍は至急推進するよう委員会へ申入れる。4) 理事会へ申入れる予算の最終案は幹事と委員長が相談して決定する。

(11) 第 10 回文献調査委員会 (36.3.7) 出席者：久野委員

長，外委員 7 名。議事：1) 46 巻 4 月号掲載の抄録，目録の選定。2)パンチカードについて，文献項目・共通項目・雑誌名・不定期雑誌・定期的国際国内会議議事録等の取扱い方法，その他について打合せを行なった。3) 抄録欄について，内容を充実するためにいろいろ協議した。

(12) 第 9 回会誌編集小委員会 (36.3.8) 出席者：堺副委員長，外委員 4 名。議事：1) 46 巻 3 号の口絵写真について協議。2) 46 巻 4 号の内容を確認。3) 電子計算機とその応用の講座について締めくくりの件を報告。4) その他。

(13) 第 5 回論文集各部委員会 (36.3.8) 出席者：第 1 部会：君島部会長，外 4 委員。第 2 部会：林部会長，外 8 委員。第 3 部会：最上部会長，外 4 委員。第 4 部会，委員 6 名。西協幹事。議事：1) 各部会ごとに審査中原稿の審査報告。2) 新規受付原稿審査委員の決定。3) 委員交代の件。4) 36 年度編集方針について臨時部会長会の内容を報告協議した。

(14) 第 5 回論文集部会長会 (36.3.10) 出席者：最上委員長，八十島編集理事，外部会長，幹事 4 名。議事：1) 各部会報告。2) 各部会の原稿処理状況について。3) 委員交代について，任期満了委員は 4 月 10 日までに後任を推薦する。4) 36 年度編集方針につき協議し，別冊をなくし本誌にもり込み内容を充実する。5) その他委員会としての考えを理事会へ報告する。

(15) 文献調査幹事打合せ (36.3.20) 出席者：久野委員長，外委員 5 名，日野幹事。議事：文献カードをパンチカードに切りかえるに当り，各文献項目の最終的な調整を行ない，次回委員会にはかり決定することにした。

(16) 第 21 回 PC 設計施工指針改訂小委員会 (36.3.20) 出席者：国分委員長，外委員 15 名，幹事 2 名。議事：1) 3 月 17 日に技術協会の幹旋で建築学会との PC 指針の話し合いの結果について野口委員より報告。2) 今まではプレストレスト コンクリート設計施工指針となっているが今後，示方書とするか基準とするか一考願う。3) 第 3 原案により用語および図，表の番号，形式の統一をはかること。4) 第 3 原案 1 条～25 条について総括的に審議。

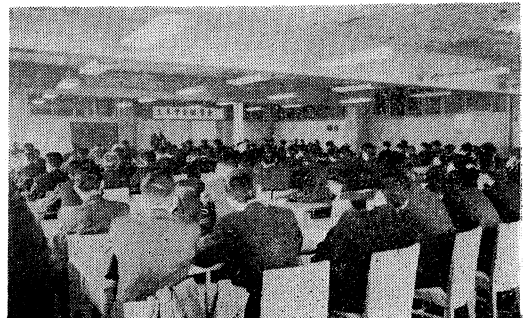
支 部 だ よ り

◎北海道支部

(1) 第 7 回幹事会 (36.2.23, 北電土木部長室) 出席者：岩本支部長，大橋幹事長，鎌田，蛭名，余湖，小川，計良，浜田，森田の各幹事。

(2) 研究発表会 (36.2.27, 札幌市民会館) 発表者 23 名，参加者 150 名，参加費無料。発表内容：技術資料第 17 号 (B 5 版 150 ページ) として支部会員に配布，一般には一部 200 円にて頒布した。

北海道支部講演会風景



(3) 講習会 (36.2.28, 札幌市民会館)

1. 北海道における河川の諸問題 北大助教授 工博 岸 力
 2. 最近のトンネル工法 熊谷組常務取締役 加納 俊 二
 3. 都市計画における最近の諸問題 札幌市建設部長 赤井 醇
- 受講者 200 名, 会費無料, 講習テキストは, 受講会員に配布, 一般には一部 100 円で頒布した。

◎東北支部

技術研究発表会

1. 日 時: 昭和 36 年 3 月 3 日, 10 時 20 分~18 時
2. 場 所: 仙台市青葉通 日立ファミリー センター (日産生命館ビル一階) セントラル ホテル向側
3. あいさつ: 支部長
4. 論題および講師:
 - 1) 10.30~11.00 汚泥の脱水に関する基礎的研究 (第 2 報) 東北大学 長谷川 信 夫
 - 2) 11.00~11.30 品井沼の干拓とその洪水処理について 宮城県河港課 高 橋 準 一
 - 3) 11.30~12.00 花山ダムの洪水調節について 宮城県花山管理事務所 遠 藤 剛 人
 - 12.00~12.50 休憩
 - 4) 12.50~13.20 鳴子ダム堤体たわみ観測について 東北地建鳴子ダム管理所 奥 山 礼 助
 - 5) 13.20~13.50 地下発電所の計画における 2, 3 の考察 岩手県電力局土木課 佐 藤 源 蔵, 関 島 正 志
 - 6) 13.50~14.20 わが國の水力資源と今後の開発について 東北電力 高 橋 由 巳
 - 14.20~14.30 休憩

- 7) 14.30~15.00 繰返し応力をうけた土の力学的性質について 東北大学 小 川 正 二
- 8) 15.00~15.30 土構造物の中に設ける排水フィルターについて 東北大学 河 上 勇 義, 江 刺 靖 行
- 9) 15.30~16.00 十六番分岐器の横圧試験について 仙鉄管理局施設部 遠 藤 芳 春
- 10) 16.00~16.30 横黒線廻戸川橋梁工事について 盛岡工事局大石工事区長 杉 田 秀 夫
- 11) 16.30~17.00 砂子源橋実測報告 東北大学 樋 浦 大 三, 倉 西 茂, 浪 越 勇

◎関西支部

- (1) 第 11 回幹事会 (36.3.23, 大阪建設会館) 出席者: 近藤支部長, 小西幹事長, 伊藤(富), 伊藤(直), 大村, 岡田, 小林, 宮崎, 毛利, 中川の各幹事。
- (2) 第 3 回商議員会 (36.3.23, 大阪建設会館) 出席者: 岩垣, 蟹, 赤井, 赤尾, 黒川, 小西(代村田), 篠原(代利田), 谷, 三上, 山下, 吉田, 水野(俊) の各商議員, 三宅, 近藤常議員, 近藤支部長, 小西幹事長, 伊藤(富), 伊藤(直), 大村, 岡田, 小林, 宮崎, 毛利, 中川の各幹事。
- (3) 海岸工学に関する講習会 (36.3.28, 29 両日, 大阪府職員会館) 参加者: 260 名 (内管外 101 名, 参加費 400 円)。
- (4) 講師懇談会 (36.3.29, 中央電気倶楽部) 参加者: 29 名。
- (5) 「河川堤防における土質工学上の諸問題とその対策」講習会 (36.3.30, 31 両日, 大阪合同庁舎別館 2 階大会議室) 土質工学会関西支部と共催, 参加者: 147 名 (参加費 300 円)

編集後記

この 4 月には 30 名の編集委員の中 12 名は 2 年間の任期を終って新しい編集委員と交代いたします。会員諸兄に喜んで読んでいただけるように, こんな風にもしようといろいろ考えてみたつもりでしたが, 少しは興味を持ってもらえるような内容になったでしょうか。

学会の出版物の中でよく読まれているのは名簿だけだといったような不評判が, 一掃できたとは思いませんが, 学会誌に興味を持って読んでいるという声も少しは耳にするようになって多少は効果があったのかと考えたりしております。それにつけても会員の学会誌として会員諸兄の反響なしには編集活動も舵をとりにくいので, アンケートしたとき以外

にも, 5 円の投資をおしなすに御意見を聞かせて頂ければと思います。今後の計画としては展望的な記事も盛り込んでみる積りで計画をすすめておりますが, 土木関係はもちろんもっと広い範囲もふくめて「最近の〇〇」とか「〇〇の展望」といった記事の表題と執筆依頼希望者などの案をお寄せいただければ幸いです。【中村・記】

会員入退会について (昭和 36 年 3 月 1 日~31 日まで)

1. 入 会	41 名	(正 36 学 5)
2. 復 活	2 名	(正)
3. 退 会	57 名	(正 49 学 3 特 2 1 特 3 4)
4. 死 亡	5 名	(正 4 名 1)
5. 除 名	831 名	(正)

会 員 現 在 数 (昭和 36 年 3 月 31 日現在)

名誉	賛助	特級	特 1 A	特 1 B	特 1 C	特 2	特 3	正員	学生員	計	減
31	30	9	10	24	107	128	128	12 641	1 141	14 249	(850)

名誉員	吉 町 太 郎 一 君	北海道大学名誉教授	昭和 36 年 3 月 23 日	死去	88 才
正 員	西 村 勉 君	国鉄札幌鉄道管理局	不明	死去	43 才
"	姫 野 勸 治 郎 君	KK 姫野組取締役社長	昭和 35 年 11 月 13 日	死去	70 才
"	益 満 要 君	KK 近畿復建事務所	昭和 36 年 2 月 23 日	死去	62 才
"	安 田 靖 一 君		昭和 36 年 2 月	死去	不明

昭和 36 年 4 月 10 日印刷

昭和 36 年 4 月 15 日発行

土木学会誌 第 46 巻 第 4 号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂溜池 5 番地

発行者 末森猛雄

発行所 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目 (外濠公園入口)

定価 200 円

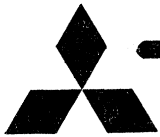
振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130・5138・5139 番

土木学会論文集別冊案内

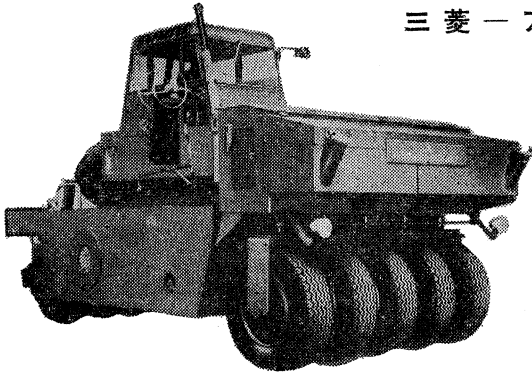
今年度より論文集は別冊を廃止し、全部本誌にもり込むことになりました。今まで出版された別冊論文集を御希望の方はこの機会にお求め下さい。入金次第送本致します。

- | | | | |
|-----------------|-----------------|--|----------------------------------|
| 第 70 号・別冊 (1-1) | B 5 判
34 ページ | 開水路分土工の研究 | 室田 明著 定価 200 円 (〒10円) |
| 第 71 号・別冊 (4-1) | B 5 判
12 ページ | 弁の周期的開閉による水撃圧について (英文) | 嶋 祐之・萩原能男共著 定価 70 円 (〒10円) |
| 第 71 号・別冊 (4-2) | B 5 判
18 ページ | 遠心力鉄筋コンクリート クイに用いるコンクリートの遠心締固めに関する研究 | 綾 亀一著 定価 80 円 (〒10円) |
| 第 71 号・別冊 (4-3) | B 5 判
66 ページ | フライアッシュに関する研究報告 (8 編) | 土木学会フライアッシュ小委員会編 定価 230 円 (〒10円) |
| 第 71 号・別冊 (4-4) | B 5 判
24 ページ | 舗装後の路床状態の変化についての研究とそれにもとづく CBR 試験法の改善に対する一提案 | 森 麟 著 定価 130 円 (〒10円) |
| 第 72 号・別冊 (3-1) | B 5 判
16 ページ | 弾性針金の変形と応用 | 工博 島田静雄著 定価 100 円 (〒10円) |
| 第 72 号・別冊 (3-2) | B 5 判
20 ページ | 弾性質量基礎にある構造物の振動解析について | 工博 後藤尚男著 定価 120 円 (〒10円) |
| 第 72 号・別冊 (3-3) | B 5 判
24 ページ | 不完全合成 T 型桁橋の曲げ理論とその応用 | 山本 稔著 定価 150 円 (〒10円) |



新三菱の建設機械

三菱—アルバレイソパクター



自走式の25吨万能タイヤローラーで、前輪5輪は油圧方式により、後輪4輪はピン方式によって支持され、それぞれ均等の圧力で輾圧できる構造になっているほか、更に前輪は特殊な装置により、各タイヤを任意の高さに固定して輾圧することができるなど幾多の特長をもっている機動性に富んだタイヤローラーです。

新三菱重工業株式会社

本社 東京都千代田区丸の内2丁目10番地 電話 (211)3411 工場 明石市魚住町清水字北沢1,106 電話二見80-84

総販売代理店 三菱商事株式会社

本社 東京都千代田区丸の内2丁目20番地 電話 (211)0211・0411

部品販売・サービス 新三菱重機株式会社

本社 東京都新宿区四谷2丁目4番地 電話 (351)7141 工場 川崎市小向482 電話 川崎 (2)2878・(3)8732